

## 対話型鑑賞 入門講座・ファシリテーション講座 募集要項

京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センターは、対話を介した鑑賞教育プログラム「ACOP／エイコップ（Art Communication Project）」を活用し、学校教育、美術・博物館の教育普及、企業内人材育成など、様々な領域における研修やワークショップを行ってきました。こうした活動の根底には、「アートとコミュニケーションの可能性を広げる活動を通じて、社会で主体的に生きることができる人材の育成に寄与する」という理念があります。

能動的学習「アクティブラーニング」や、AI 時代を生き抜く創造力やコミュニケーション力育成に対する社会の関心が高まっている近年、ACOP はそれらを実現する学びの手法として益々注目され、多くのメディアにも取り上げられています。さらに本研究センターは ACOP の源流となった、ニューヨーク近代美術館（MoMA）の鑑賞教育プログラムを開発したフィリップ・ヤノウインの著書を翻訳出版（『学力をのばす美術鑑賞』淡交社）し、教育界に大きな波紋を呼びました。（これまでの取り組みやメディア掲載記事は Web サイトよりご覧いただけます <http://www.acop.jp/>）

こうした状況下、対話型鑑賞への理解だけではなく、これを各々の現場で実践・活用したいというご要望を多く頂戴し、このたび「対話型鑑賞 入門講座・ファシリテーション講座」を開催する運びとなりました。対象は教育関係者だけでなく、ビジネスパーソン、行政の教育担当者など、コミュニケーションを通じた人材育成プログラムに興味のあるすべての方々です。「対話型鑑賞 入門講座・ファシリテーション講座」は 3 つの Step によって構成されています。

日程	概要	定員
<b>STEP1 入門講座</b> 2018 年 8 月 11 日（土）～12 日（日）	対話型鑑賞に関する基礎レクチャーで、その意義や可能性を理解する。講師陣のファシリテーションによる作品鑑賞および複数のワークショップを通して、作品鑑賞の基礎である観察力・批判的思考力・言語能力を高める。	50 名
<b>STEP2 ファシリテーション講座</b> 2018 年 9 月 1 日（土）～2 日（日）	レクチャーと映像分析によって、対話型鑑賞におけるファシリテーターの役割を理解する。参加者全員のファシリテーション実践、それに対する講師陣のフィードバックによって、継続的に実践の場を開くことができる力を養う。	30 名
<b>STEP3 実践講座</b> 2019 年 1 月～3 月開催予定	STEP2 後に行う受講者の実践から導き出された課題を持ち寄り、具体的な解決策を検討。今後の実践において、トライ＆エラーを重ね自ら学び続ける術を身につける。	20 名

※プログラム詳細は各 STEP の講座概要をご覧ください。

※STEP3 は参加者の実践状況へ対応し、各人の課題に具体的に取り組みます。そのため講座内容や日程など、詳細は STEP2 の後に決定します。



## ACOP／エイコップ（Art Communication Project）とは

MoMA で開発された鑑賞教育プログラムを源流とし、2004 年度から京都造形芸術大学アートプロデュース（ASP）学科の学生を対象に行われている、対話を介した鑑賞教育プログラム。「みる・かんがえる・はなす・きく」という 4 つの能力を駆使しながら、知識や情報だけに偏らず、鑑賞者同士のコミュニケーションに基づいてアート作品を読み解いていく。

本プログラムは、アーティストが制作した作品を人々や社会とつなげるプロフェッショナルになることを目指す、ASP 学科 1 回生の 1 年間にわたる必修授業として行われている。前期は作品の面白さや価値を見いだす力を身につけ、続く後期では作品と人、人と人をつなぐファシリテーターとして必要な力を身につける。後期の専門トレーニングは最多で 400 時間に達する。

### ■ 講師（各講座共通）

- |       |   |
|-------|---|
| 福 のり子 | 京都造形芸術大学 芸術学部教授<br>アート・コミュニケーション研究センター所長<br>専門領域：鑑賞教育学・美術館学・現代写真・キュレトリアル  |
| 伊達 隆洋 | 京都造形芸術大学 アートプロデュース学科准教授・学科長<br>アート・コミュニケーション研究センター研究員<br>専門領域：人間科学・臨床心理学  |
| 岡崎 大輔 | 京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター専任講師・副所長<br>専門領域：企業内人材育成・ファシリテーション             |
| 青山 真樹 | 京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター講師・研究員<br>専門領域：鑑賞教育学                           |
| 北野 諒  | 大阪成蹊短期大学 幼児教育学科講師<br>京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター 嘱託研究員<br>専門領域：美術教育学・現代美術 |

## ■ STEP1 対話型鑑賞 入門講座概要

- 日時 : 2018年8月11日(土)～12日(日) 両日とも10:00～18:00
- 会場 : 京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
- ゴール : 鑑賞者として、作品鑑賞の基礎である観察力・批判的思考力・言語能力を高める
- 定員 : 50名
- 参加費 : 20,000円(税込)

### プログラム

初日 : 8月11日(土) 10:00～18:00	
オリエンテーション	講座趣旨説明
レクチャー 「対話型鑑賞」	対話型鑑賞に関する基礎レクチャー
作品鑑賞①	講師のファシリテーションによる作品鑑賞体験
ワークショップ 「ブラインド・トーク」	詳細な観察の重要性と、観察によって得た情報を他者に的確に伝える術を理解する
ワークショップ 「マンガ読解」	複数の視点で作品鑑賞することによって広がる可能性と、事実と解釈を意識することの重要性を理解する
作品鑑賞②	講師のファシリテーションによる作品鑑賞体験

2日目 : 8月12日(日) 10:00～18:00	
ワークショップ 「鑑賞を鑑賞する」①	自分たちの鑑賞中の様子や発言から、作品鑑賞やコミュニケーションにおけるコツや課題、また自身の傾向を取り出す
作品鑑賞③	講師のファシリテーションによる作品鑑賞体験
ワークショップ 「鑑賞を鑑賞する」②	個々人の様子や発言ではなく鑑賞の展開や内容に注目し、作品鑑賞を深めるために必要な要素を取り出す
振り返り	2日間の講座を振り返り、学びと課題を整理する

## ■ STEP2 対話型鑑賞 ファシリテーション講座概要

- 日時 : 2018年9月1日(土)～2日(日) 両日とも10:00～19:00
- 会場 : 京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
- ゴール : 対話型鑑賞におけるファシリテーターの役割を理解し、継続的に実践の場を開くことができる力を養う
- 受講資格 : STEP1 受講修了
- 定員 : 30名
- 参加費 : 35,000円(税込)

### プログラム

初日 : 9月1日(土) 10:00～19:00	
STEP1のレビューおよび作品鑑賞	STEP1を振り返り、その内容を踏まえて作品を鑑賞する
レクチャー 「ファシリテーターの役割」	対話型鑑賞のファシリテーターの役割と基礎的な視点、振る舞いに関するレクチャー
ワークショップ 「ファシリテーションを鑑賞する」	鑑賞中のファシリテーターが行っている投げかけや行動から、ファシリテーションのコツを取り出す
ファシリテーター実践①	ワークショップで取り出したコツを意識し、ファシリテーションを実践する
ファシリテーター実践振り返り	ファシリテーター実践を振り返り、ファシリテーションのコツと課題を取り出す

2日目 : 9月2日(日) 10:00～19:00	
ワークショップ 「聴く・応答する」	ファシリテーターとして、鑑賞者の発言内容だけではなく、その背景にある意図や思考のプロセスも含めて聴く能力を高める
ファシリテーター実践②	これまでに得た学びを意識し、ファシリテーションを実践する
振り返り	2日間の講座を振り返り、学びと課題を整理する
総括	講座後の実践に関するディスカッション

## ■ お申し込み

お申し込みはメールにて先着順で受け付けます。

**募集締め切り【2018年7月31日18:00】**

メール件名を「ACOP 対話型鑑賞講座 申込」とし、下記①～⑨の必要事項を【info@acop.jp】までお知らせください。3営業日以内に担当より返信いたします。

※万が一3営業日を過ぎても担当者からの返信がない場合は、お手数ですがその旨メールにてお知らせください。

①氏名 ②所属 ③部署 ④役職 ⑤住所（郵便番号も明記してください） ⑥電話番号

⑦この講座をどこでお知りになったか ⑧対話型鑑賞のご経験の有無（有の場合、どの程度ご経験があたりか、あわせてお知らせください） ⑨参加希望講座（STEP1のみ、STEP1およびSTEP2）

※STEP2はSTEP1開催後もお申込を受け付けますが、先着順のためご受講いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。

## ■ 受講上の注意とお願い

◇お申込時、過去に本センターが主催・実施したセミナーや講座にご参加された方には、STEP3からの参加をご案内差し上げることがございます。あらかじめご了承ください。

◇講座の記録のため、写真・ビデオ・レコーダーによる録画・録音を行います。記録は講座の点検・改善・報告に用いるほか、大学案内等の広報に使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

◇受講に際し必要な氏名、連絡先等の個人情報は、本学規定に基づき厳重に管理します。

◇受講料には講座に必要な資料費・材料費等が含まれています。別途、受講申込に必要な送金手数料、申込書類郵送料、本学までの交通費等が必要です。

////////////////////////////////////

## ■ お問い合わせ先

京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター

担当：岡崎

http://www.acop.jp/      info@acop.jp

Tel：075-791-9132      Fax：075-791-9185

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 人間館 1F

**ACOP**  
ART COMMUNICATION PROJECT